【授業科目】学校看護学　　School　Health　and　Nursing

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
大野 泰子	２年次 後　期	選　択	1	１５	講　義	あり		可

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／学校保健の理念、学校保健の制度・法的根拠を講義し、学校における児童生徒の健康問題の特徴や心身の健康を支援する学校看護の役割や機能・業務を理解できるように教科書やプリント資料配布して行う。 課題に対するフィードバック方法／１．授業中の疑問・質問は、授業のまとめプリントに記入してもらい、次回の授業冒頭で解答・解説する。２．現代的な健康課題についてテーマ別に各自が授業外で課題学習を行う。次回の授業プリントに学びの記載をさせ、授業の冒頭でその内容を紹介し、繰り返し学びの内容を共有し深める。
実務経験に関する授業内容	保健師・養護教諭の実務経験をもつ教員が、看護師・保健師として必要な学齢期の児童生徒の学校看護の知識について、厚生労働省・文部科学省の最新の法令や資料・教材を交えながら指導していく科目である。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー②「人間の健康を環境との関係において捉え、地域社会の生活する児童生徒、保護者の視点から看護の役割を考え、実践することができる。」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	学齢期を中心とし、生涯の健康や地域の健康につながる自己管理力の基礎構築のため学校看護領域の専門的知識による看護援助や対応を考えることができる。 ①学校看護（保健）の概念・目的、関係法規がわかる。 ②児童生徒の健康実態から、健康問題の特徴を理解し、解決するための方法を考えることができる。 ③児童生徒の心身の健康を把握評価し、学校教育・生活を快適・効率的に送るための保健管理の方法がわかる。 ④生涯の健康につながる保健教育の方法、条件について学び、健康教育の実践について考えることができる。 ⑤学校看護を担う養護教諭の役割や職務について学び、チーム学校における学校内外の関係機関の連携の重要性について考えることができる。
時間外学習に必要な内容・時間	第１回～8 回事前学習：指定の教科書を事前に読んでおく。／各自の興味のある新聞等の記事を探し、関心のあるテーマについて考えておく。また、発表、討議は、事前に発表資料を作成し、印刷物を準備する。 第１回～8 回事後学習：各回での学びを復習することで確認し、解らなかったことは調べ教員に質問する。/関心のあるテーマについてレポートを作成する。 ※その他、講義で学んだことを振返る課題を課すことがある。予習復習に必要な時間は1時間/1回とする。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間である。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めたい。詳しくは教員の指導に従うこと。
授業計画	第１回：学校保健の理念、目的、構造 学校保健の制度、関連法規等から学校保健の考え方、目的および構造を理解する。 第２回：学校看護（保健）従事者の職務と役割 学校保健の歴史から、学校看護婦や養護訓導が確立してきた職務と役割を学ぶ。また、学校看護従事者（養護教諭）の職務における職業倫理について学ぶ。 第３回：保健管理１、感染症予防、学校環境衛生 学校保健安全法における保健管理について、対人管理の学校感染症と対物管理の学校環境衛生について、法令から現状と課題を学ぶ。 第４回：保健管理２、健康診断、健康観察、保健調査、救急処置 保健管理の内容である、健康診断、健康観察、保健調査、救急処置から、児童生徒の健康実態と特性について、主に身体的な健康について理解する。 第５回：心身の発育・発達に関係する現代的な健康課題と教育 学齢期の心身の発育・発達や、学校教育に関係する疾病を保健統計から理解し、様々な支援を学ぶ。 第６回：健康相談・特別支援教育 不登校やいじめ、虐待、自殺などメンタルヘルスの健康問題の理解から健康相談を理解し、特別支援教育における学校看護のケアや支援を学ぶ。 第７回：保健教育 学習指導要領に基づく保健学習、保健指導の教育体系を理解し、保健教育の計画的な実施を学ぶ。新たに教育に取り込まれたセルフメディケーションやがん教育についても理解する。 第８回：学校安全・関係機関の連携によるチーム・組織連携によるめざす生涯の健康づくり 安全教育や管理の重要性を理解し、様々な危機管理において学内外の関係機関との連携により、生涯の健康につながる展望を理解する。	全て 大野
評価方法 評価基準	定期試験（筆記）60%, 授業の課題プリント 20%, 授業参加態度 20%
教科書	最新学校保健第２版、岡本陽子、郷木義子、ふくろう出版　　参考書等：国民衛生の動向 他該当の授業中に適宜紹介する。
学生への助言等	保健師国家試験受験資格取得希望者は必修である。その他の学生も受講できる。